

概要 ピア・レスポンスとは？

文章作成過程において
学習者同士が話し合いを通じて
協力的に学習を行う方法
(大島ら,2005)

概要 本研究のRQ



ピアに向いている学習者、
向いていない学習者とは、
どのような学習者なのか？



ピアに向いている
学習者



ピアに向いていない
学習者

概要 本研究の内容

- 学習者のピア指向性質問紙
(パイロット版)を作成・実施する
- 文章を書くことやグループワークの
好き嫌い、ピアの役立ち度との
関連を調べる

方法 質問紙の内容

- 質問項目:32項目
- 回答方法:5件法
- フェイスシート:
 - 文章を書くことが好きか？
 - グループワークが好きか？

方法 調査方法

- 対象:文章表現の受講生80人
 - 回答者62人(回答率77.5%)
 - 男子52人 女子10人
- 1回目のピアを行ったあとに
実施

方法 「文章表現」授業内容

- ① eラーニングでライティングの型
や執筆手順を学習する
- ② 文章作成の練習問題を解く
- ③ ピアで練習問題について討論
→ピア終了後、ピアの役立ち度
について調査(5件法)

結果 探索的因子分析結果

4因子(15項目)を抽出

- 第1因子 改善指向(α係数 .786)
 - 第2因子 開示指向(α係数 .807)
 - 第3因子 協同指向(α係数 .804)
 - 第4因子 仲間指向(α係数 .742)
- (全15項目のα係数 .824)

結果 第1因子 改善指向

ピアを行うことにより、自分の文章を良くしたい、文章力を向上させたい

- 自分の文章をメンバーに見てもらうことにより、文章力を向上させたい
- 自分の文章について、ピアのメンバーからいろいろな意見をもらえるのはうれしい
- ピアで自分の意見を述べることは有意義だと思う
- メンバーの文章を見ることにより、自分の文章力を向上させたい

結果 第2因子 開示指向

ピアの中で、自分の文章や意見をメンバーに対して抵抗なく開示できる

- 自分の考えを話すことが苦手である
- 自分の意見に反論されると、黙ってしまう
- 自分の文章を人に見られるのは恥ずかしい
- ほかのメンバーの文章について意見を述べるのは苦手である
- ピアで初対面の人と話すのは抵抗がある

結果 第3因子 協同指向

能力が異なる、さまざまなメンバーの意見を受け入れ、ともに学ぶ

- メンバーの中に能力の低い人がいると、イライラする
- 自分の文章の問題点をメンバーに指摘されると、不愉快になる
- 文章力が自分と同程度、または自分より低い人からのコメントは役に立たない
- 文章について学生同士で話し合っても無駄だと思う

結果 第4因子 仲間指向

ピアでメンバーと話すことが楽しい

- ピアで話し合うのは楽しい
- ピアでいろいろな人に出会えるのがうれしい

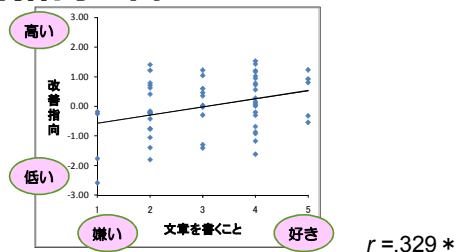
結果 フェイスシートとの関連

相関係数	因子1 改善 指向	因子2 開示 指向	因子3 協同 指向	因子4 仲間 指向
文章を書くことの好き嫌い	.329 *	-.069	.125	.074
グループワーク好き嫌い	.189	.344 **	.071	.536 **
ピアの役立ち度	.386 **	.015	.167	.327 *

** p<.01 * p<.05

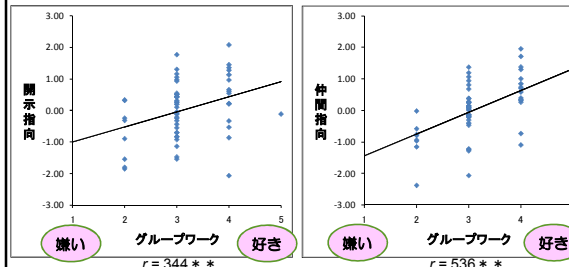
結果 文章を書くこととの関連

- 文章を書くことが好きな人は改善指向が高い



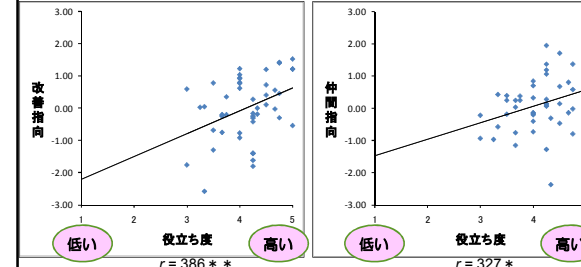
結果 グループワークとの関連

- グループワークが好きな人は開示指向や仲間指向が高い



結果 ピアの役立ち度との関連

- 改善指向や仲間指向が高い人はピアの役立ち度が高い



結論 外的妥当性

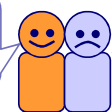
- 文章を書くことが好きな人は改善指向が高い **妥当**
- グループワークが好きな人は開示指向や仲間指向が高い **妥当**

結論 協同の難しさ

なぜ、協同指向はグループワークの好みと相関がないのか？

大学生は、仲間指向や開示指向のレベルではグループワークが好き。協同指向のレベルでは好きではないのかも……

メンバーとおしゃべり好き！
文章を見せ合うのも
おもしろい！



でも、メンバーから
問題点を指摘されたい、
討論するのはイヤ…
(苦手)

結論 今後の課題

協同レベルのピア

お互いの文章を良くするためのクリティカルなディスカッションをできるようになるには、どのようなトレーニングが必要か？